

機械器具 01 手術台及び治療台
一般医療機器 手術台アクセサリ JMDN コード：70469000
シーラー・手術台アクセサリ (a r c u s 用)

***【警告】**

<使用方法>

- ①患者を長時間にわたって同一の体位に保つことや、皮膚に過度な圧迫がかかることは避けること。[神経麻痺や褥瘡等の原因となる場合があるため]
②正しく患者の位置を決めて、継続的な観察を維持すること。[間違った患者のポジショニングにより生命機能が害される場合があるため]

****【形状・構造及び原理等】**

1. 形状

販売名	原材料
手の外科用上肢台 (パッド付)	ポリエステルフォーム、ステンレス鋼
X線カセットフレーム	ステンレス鋼、サーモプラスチック
ベースユニットアダプター	ステンレス鋼、サーモプラスチック
コレクティングトレイ	ステンレス鋼、サーモプラスチック、シリコーンゴム
頭板	ステンレス鋼、ウレタンフォーム (パッド)、サーモプラスチック (ノブ)
脚板	ステンレス鋼、ウレタンフォーム (パッド)、サーモプラスチック (ノブ)
脚板/パッドストラップ付	ステンレス鋼、サーモプラスチック (ノブ)、ポリエステルフォーム
軽量脚板 (カバー付)	ステンレス鋼、ポリアセタール
arcus 延長板	ステンレス鋼、ウレタンフォーム (パッド)
アッパーアームプレート (パッド付)	ポリエステルフォーム、プラスチック (内部プレート部)、ステンレス鋼
カーボン製 上肢板	炭素繊維強化プラスチック、ポリエステルフォーム (パッド)、ウレタンフォーム (パッドS)
SP カーボン板	炭素繊維強化プラスチック、ステンレス鋼、ポリエステルフォーム (パッド)、ウレタンフォーム (パッドS)
HL カーボン板	炭素繊維強化プラスチック、ステンレス鋼、ポリエステルフォーム (パッド)、ウレタンフォーム (パッドS)

頭板	脚板
	
耐荷重：現品側面に表示	耐荷重：現品側面に表示
脚板/パッド・ストラップ※付	軽量脚板 (カバー付)
	
arcus 延長板	アッパーアームプレート (パッド付)
	
カーボン製 上肢板	SP カーボン板
	
HL カーボン板	
	

※使用者の選択に応じて以下を本品の構成医療機器に含む場合がある。

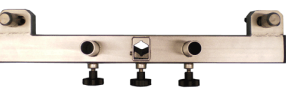
品番/構成品名称	販売名	届出番号
90344/ストラップ	シーラー・手術台アクセサリ	13B1X00167000145

製造販売業者：欧和通商株式会社 (自社)

2. 寸法等
外装に記載

【使用目的又は効果】

本品はシーラー社製 a r c u s 手術台 (別売品) に接続し、患者の身体を支持、又は固定する目的で使用する。

手の外科用上肢台 (パッド付)	X線カセットフレーム
	
ベースユニットアダプター	コレクティングトレイ
	

【使用方法等】

必要に応じてシーラー社製 a r c u s 手術台（別売品）に取付け、患者を支える。代表的な併用医療機器は下記のとおり。

＜組み合わせて使用する医療機器＞

販売名	製造販売届出番号
電動式手術台 a r c u s 5 0 1	13B1X00167000191
電動式手術台 a r c u s 6 0 1	13B1X00167000192

＜使用例＞



【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

＜製造販売業者＞

欧和通商株式会社：TEL 03（5803）7172

＜製造業者＞

日本語名：シーラー・メディカル社（スイス）
英 名：Schaerer Medical AG (Switzerland)

＜問い合わせ先＞

欧和通商株式会社 札幌営業所：TEL 011（708）7725

東京営業所：TEL 03（3813）8201

大阪営業所：TEL 06（6304）9305

福岡営業所：TEL 092（526）3618

住所等につきましては下記ホームページにてご確認ください。

ホームページアドレス <http://www.ohwa-tsusho.com>

**【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 手術台のアクセサリ固定レバーを確実に締めること。[脱落防止、患者または医療従事者への危害防止のため]
2. 手術台（別売品）に本品を接続した後、各アクセサリの上だけに乗ったり座ったりしないこと。[手術台の横転、破損防止のため]
3. 現品に記載の耐荷重を超えた使用をしないこと。[作動不良、破損防止のため]

【保管方法及び有効期間等】

ネジ等の部品の紛失に注意し、高温、高湿、直射日光を避けて保管すること。

**【保守・点検に係る事項】

洗浄方法

- ①使用後は消毒用エタノール等で清拭し、速やかに付着物を取り除くこと。
 - － 金属たわし、磨き粉（クレンザー等）の類は使用しないこと。
 - － 付着物等を取り除く際、シンナー、ベンジン等の溶剤は使用しないこと。
- ②洗浄に際しては中性の洗浄剤を使用し、脱イオン水、脱塩素水にて十分すすぐこと。
 - － 薬液等が付着した状態で放置しないこと。
 - － 酸性、及びアルカリ性の洗浄剤は腐食の原因となるため、使用しないこと。
- ③クリーナーの直接の噴霧、水洗い等はしないこと。（防水構造ではないため）
- ④本品は滅菌の必要はない。

※本品は度重なる洗浄及び使用による金属疲労により、破損する場合があります。